

〒110-0012 東京都台東区竜泉 1-20-19
発行所 真宗 佛光寺派 西徳寺
TEL 03-3875-3351 FAX 03-3875-6796
発行人 山崎 哲
編集長 仲井 真裕
印刷 大進ラベル印刷(株) 03-3787-3621



大悲に生きる人とあう
願いに生きる人となる



東洋文庫ミュージアム(文京区)

西徳寺の予定

11月

- | | |
|---------------|----------------------|
| 4日(土)、5日(日) | 西徳寺報恩講 |
| 11日(土) 午後2時 | 定例間法会 |
| 15日(水) 午前10時 | そば打ち体験 |
| 16日(木) 正午 | 婦人会食事会 |
| 18日(土) 午後5時半 | 同行会『勸衆偈』に聞く 法話:蓮井 邦宗 |
| 19日(日) 午後2時半 | 城北ブロック会間法会 場所:西日暮里一合 |
| 21日(火)~28日(火) | 本山御正忌報恩講 |
| 23日(木) 午後1時半 | 燈虹塾認定式 |



12月

- | | |
|--------------|----------------------|
| 9日(土) 午後5時半 | 同行会『勸衆偈』に聞く 法話:仲井 真裕 |
| 12日(火) 午後3時 | 総代会 |
| 13日(水) 午後1時半 | 婦人会間法会 |
| 16日(土) 午後2時 | 定例間法会 |
| 31日(日) 午後3時 | 歳暮法要 |

※予定は変更することがあります。
詳しくは寺務所までお問合せください。

顧問の一言

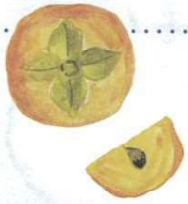
おはこ 十八番

自分の得意なことを十八番と云いますが、事の起ころは『仏説無量寿経』に、仏様の誓いとして四十八願が説かれており18番目が根本本願であると教えられております。ここから肝心要のことを十八番というようになりました。歌舞伎では市川家に伝わる、当たり狂言の一番大事な脚本を、オハコ(箱)に納めてあることから“おはこ”ともいっています。

芸事の十八番は握りしめるもの、お念仏の十八番は握りしめた手を離すことが始められるのです。



11月の山門の言葉



(私たち人間は)
他のものと比べることしかできない
数学者・藤原正彦



一般に「数学者」と聞くとどんなイメージを持つだろうか。私の偏見であるが、天才だとか、ものすごく頭の良い人という印象がある。実際にとある問題の解答例を見ると実に鮮やかで、なぜそんな発想が出来るのかと驚いてしまう。そして、天才だから突然アイデアが降ってきたのだろうかと考える。

しかし数学者である藤原先生は、「たとえ天才であっても砂漠に家を建てることはできないように、何も無いところに突然アイデアは閃かない。むしろ古今東西の先人の例を比べ合わせて、地道な計算作業を繰り返すのが数学者だ」と語る。つまり、比べる作業の連続なのである。

そのお話を伺って、念仏の教えにも同じことが説かれていると思ひ出した。私たちとは一体どういう存在なのかと教わる中で、何事も他と比べる「慢」という煩惱が教えられる。

私は幼いころ、ピアノ教室に通っていて、ピアノが少し弾けて得意気になっていた時期があった。しかしそれはもっと上手な人がいて、あの人のようになりたいと憧れて練習した結果であった。他と比べることは原動力になる。しかし少しでも秀でると今度は他を見下す、それが「慢」の姿である。

他の人と比べるという反面、平等や公平を求める私たち。この事実をどう受け止めたらよいのだろうか。自分自身では受け止められなくとも、先人の智慧に尋ねたく思う。そしてそれが私たちの歩む道だと感じる。

(高橋 淳 記)

ランドマーク 東洋文庫ミュージアム (文京区)

読書の秋、ということで、今月は「日本一美しい本棚」(モリソン書庫)がある東洋文庫ミュージアムに伺いました。

東洋文庫とは、東洋学の専門図書館、並びに研究所。アジア最大の東洋学センターであり、世界5大東洋学研究図書館のひとつ。その東洋文庫に併設されたのが東洋文庫ミュージアムです。

1917年、三菱財閥の第3代当主であった岩崎久弥が、当時中華民国の総統府顧問を務めていたイギリスのジャーナリストであり旅行家、ジョージ・アーネスト・モリソンの所蔵する、極東関係の文献、約24,000冊(モリソン文庫)を購入したことに始まります。

難しい本は抜きにしても、古く美しい本がずらりと並んだ様子はそれだけで圧倒され、まるで物語の世界に入り込んだような気持ちになります。



オリエント・カフェへの「知恵の小径」



お齋ナビでは西徳寺にご法事、またはお墓参りに来られた方が立ち寄れる飲食店をご紹介します。

今回ご紹介するのは、今年7月29日にオープンした、香辛料と酒の店「居酒屋 DOUCHUU」さん。馴染みのある方は“金寿司があったところ”でお分かりいただけるかと思います。

墨田区向島出身のオーナーが、「地域と関りながら若い世代と何かやりたい」、「大人の遊び場を作りたい」という思いで店を開かれました。店名の由来は花魁道中と、後戻りしない道半ば、道中からきています。

今後はアートの展示や、落語、三味線等、様々なことを店でやっていくそうです。近くの銭湯とも協力し、入浴した方はドリンク1杯無料というキャンペーンもしておられます。

「味には自信があります」と語られるように、カレーを中心とした美味しい料理が味わえ、数多くのアルコールメニューがあります。



チキンカレー



ねぎキーマカレー



スパイスきんぴら



焼き鯖丼



親子丼

～メニュー～ (下記以外に多数あります)

食事(全て1100円):カレー【ビーフ、ねぎキーマ、ベジタブルキーマ、ポーク、チキン】、親子丼、焼き鯖丼、カレー油そば etc.

おつまみ:スパイスチキン 770円 スパイスポーク 880円
トロ豚チャーシュー 880円 スパイスきんぴら 550円
白滝のサブジ 550円 ししゃも 660円
やみつ枝豆 550円 やみつ冷奴 550円 etc.

飲物:ビール 880円～ ウイスキー 770円～
焼酎(甲類・黒糖・麦・芋)550円～
ワイン 550円～ ソフトドリンク 330円
カクテル各種 770円 焼酎サワー 550円～

その他、こだわりのオリジナルサワーもあります。



店内(小上がりもあります)



居酒屋DOUCHUU(ドウチュウ)

台東区千束3-33-12

(西徳寺の山門を出て、正面の信号を渡って直進80メートル)

昼) 11:00～15:00

夜) 18:00～25:00

定休日:月曜日



外観

城西ブロック会聞法会

去る10月1日(日)、西徳寺「栴檀の間」を会場に聞法会を開催致しました。

聞法会では大谷顧問に法話を頂戴し、その中で「信心というのは得るものではなく、賜るもの」と、一般的に知られている信心との違いを明確にされ、参加された方の中には驚かれた様子の方もいらっしゃいました。知っているようで知らない仏教に触れることが聞法会の醍醐味かもしれません。

その後は希望者のみで懇親会を行い、賑やかな時間を過ごせました。気にはなっているけどなかなか・・・という方は、一度担当大橋までお気軽にお問い合わせ下さい。

次回は来年5月19日(日)に開催予定です。
(担当：大橋 伊知郎 記)



城東ブロック会のご報告

10月8日(日)、心地よい秋晴れの中、城東ブロック会を西徳寺にて開催いたしました。加藤^{ひろし}廣会長からは、「自分が死んだらどうなるか分からない、それが不安の大元だと感じる」とご挨拶があり、それをきっかけに不安とは何か、苦とは何かを問う時間となりました。また、大谷最高顧問からは「不安におののき、悩むということは、何かを求めていることである」とお話いただきました。

今回も、コロナ禍をきっかけに始まったオンラインも併用しました。お身体の都合でお寺に来られない方もご参加され、皆様より様々な感想をいただきました。

次回は来年2月4日(日)に開催予定です。
(担当：高橋 淳 記)



加藤会長よりご挨拶いただきました

虫の声を堪能しました(燈虹塾のご報告)

「江戸の音楽の基本」というタイトルのもと、理事であります望月太左衛さんより定期的に教わる本コーナー。今回は秋の音曲というテーマで、虫の声に焦点を当ててお話をしていただきました。

まずもって、音楽とは何か?そしてそれを構成している音とは何か?というお話。具体的には、秋の夜長の虫の声をどう受け止めるのかということですが、日本人は「声」と聞くのに対し、外国の方々は「雑音」として受け止めるのだそうです。考えてみれば「虫の声」という表現も、日本人ならではの、感慨深くなった時間でありました。

(事務局 高橋 淳 記)



今回ご講師を務められた望月太左衛門



実際に演奏も披露いただきました

秋季永代経法要

9月22日(金)秋季永代経法要をお勤めしました。法要後、法務員の蓮井と山崎住職が法話をしました。

ご讃題に『歎異抄』第3章の冒頭「善人なをもて往生をとぐ、いわんや悪人をや」をあげ、親鸞聖人は、いつも自分の考えや知識が正しい、そのことに疑う余地のない自己中心的な在り方を「善人」と明らかにされました。さまざまな出来事を通して、そういう自分勝手な我が身であったと気づかされ、改めて与えられたいのちをいただき直していく、それを「悪人」と、親鸞聖人の常の教えは私たちに教えてくださっているのです。

仏法を聞くと善い人間になれるのではなく、むしろどこまでも自己中心的な生き方しかできない私の姿がはっきりしてくるのです。そこから恩に報いていく生活が始まっていくのだと、この度の法要をご縁として教えていただきました。(蓮井 邦宗 記)



山崎住職



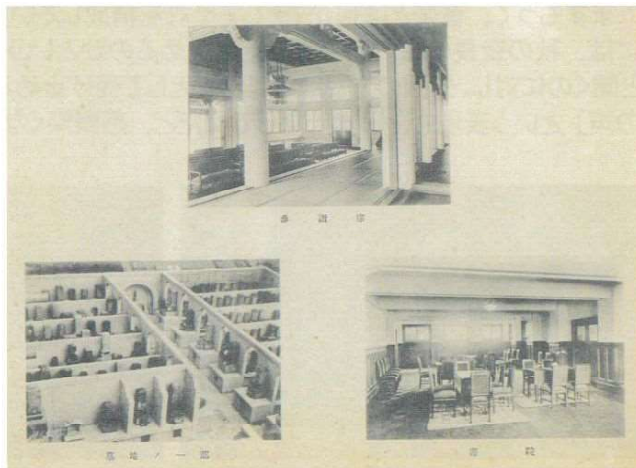
西徳寺本堂の歩みと現状

11月に予定している、文化庁の「登録有形文化財」本堂視察に先立ち、台東区文化財保護審議会委員が視察に来られました。

その際、本堂と本堂裏手の墓地は同時に作られていることから、墓地にも価値があると思われるとの所見をいただきました。見慣れ、親しんでいる西徳寺に、改めて歴史を感じます。

来年予定している「西徳寺開基400年 本堂建立100年法要」、是非皆さまと勤修いたしたく存じます。

住職 山崎 哲





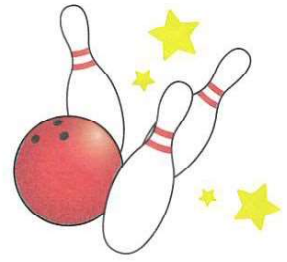
坊さんのツブヤッター



@テッシン

誘われて、得意とは言えないボーリング大会に参加。
参加者20名程度で、30代から70代と世代も幅広い。
成績発表では大いに盛り上がり、気が付けば世代を超えた仲間。
ちょっと練習しようかな……

#ブービー #5位浮上 #結局は飲み会



えこお志お礼

三重県 東光寺 様
台東区 吉川 明子 様
埼玉県 近藤 福松 様
板橋区 木下 順子 様
神奈川県 齊藤 祐三 様



ご浄財を頂戴いたしましてありがとうございます。
ご芳名の掲載をもってお礼とさせていただきます。

内愚外賢

～賢者の信を聞きて、
愚禿が心を顕す～

先日テレビで、^{りだん}離檀(お寺にあるお墓を移転・撤去して檀家を離れること)について報道があったそうです。特に気になったのは、離檀にかかる費用、離檀料なるものがあると伝えられたそう。

西徳寺では離檀料をいただくことはありません!(お骨の改葬・永代供養等には費用がかかる場合があります)もともと離檀料という言葉もメディアによって作られた言葉だそうです。今はインターネットやテレビ等で誤った情報が、まことしやかに伝えられていることが多くあります。

西徳寺ではご門徒の皆様に寄り添って、お話を伺うように心がけております。何かお困りの際は、ぜひ遠慮なくお寺までお問合せください。

(編集長 仲井 真裕)



仲井家七五三



蓮井家七五三

えこおに対するご意見・ご感想、お待ちしております。

✉ saitokuji@ce.wakwak.com

🌐 <http://saitokuji.tobihiro.jp/>



ホームページ

ゆうちょ銀行お振り込み口座
00120-0-80670 名義 西徳寺



Facebook